

●●●●●輝きのある目を守るために●●●●●

老眼と上手につきあおう



エール世代は、体のあちらこちらで加齢を実感する世代。目に関しても例外ではなく、視力や視界が変化し、見えにくさを感じたり、目のまわりのシワやたるみなど美容的にも気になることが出てきます。

でも、あきらめないで。症状やその原因を理解して、早めの予防と対策を行えば、輝きのある目を守る事ができるのですから。

そして、100歳になっても「見る生活」をポジティブに楽しもうではありませんか！

目の病気についてうかがいました



44～52ページ監修 白土城照 先生

東京医科大学教授・八王子医療センター眼科部長。緑内障のレーザー治療や抗がん剤を使用した手術を日本で最初に行うなど、最先端の緑内障治療を实践。1日100人以上の臨床を行っている。加齢による目の病気をわかりやすく解説した著書『中・高年の目の病気がすべてわかる本』（主婦と生活社）がある。

目もとの老化についてうかがいました



56～58ページ監修 片桐衣理 先生

内科・皮膚科診療を行う衣理クリニック（東京都墨田区菊川）院長。特に美容施術やヘルシーエイジングに造詣が深く、幅広い年代の女性が来院している。「メスで切ったり注射をしたりなど、リスクのあるアンチエイジング治療は最終手段。まずは普段のお手入れや生活で若さを保つ」がモットー。